

《紹介》

岡山大学附属図書館蔵 黒正文庫追加目録
(西洋古文書・古版洋書篇)

松 尾 展 成
小 倉 欣 一
田 北 廣 道

はじめに

1. わが国の西洋経済史の分野ではマックス・ウェーバー原著『社会経済史原論』（岩波書店、昭和2年）の訳者として、また、日本経済史の領域ではとくに『百姓一揆の研究』（岩波書店、昭和3年、再版、思文閣、昭和46年；同続篇、ミネルヴァ書房、昭和34年）などによって著名な故黒正巖博士は、京都帝国大学農学部教授在任（昭和24年2月まで）のまま昭和19年4月に旧制第六高等学校校長に就任された。そして、24年7月には六高校長を辞されて岡山大学法文学部教授に任ぜられたが、同年9月3日急逝された（享年55）。

博士は戦後の学制改革に伴う岡山大学の創設（昭和24年5月に実現）に非常に尽力されたので、この功績を記念して、昭和55年10月25日には文・法・経済学部において博士没後31年にちなむ記念講演会が開催された。講演者は、博士と関係の深い宮本又次大阪大学名誉教授、演題は「黒正先生の学風と人物」であった。（その速記録は、黒正巖先生を偲ぶ会編のパンフレット『黒正巖先生』、昭和55年12月、2—26ページに収録。後に宮本教授『先学追慕』、思文閣、昭和57年、113—141ページに再録。）

この講演会に先立って、田中生夫教授と土生芳人教授によれば、博士の遺族（未亡人と令息）および宮本教授は岡大図書館の黒正文庫を參觀された。博士の蔵書の大部分は、博

士が昭和24年4月に学長に就任されていた大阪経済大学に、一部は岡山大学に移されており、後者の百姓一揆に関連する和装本438点については昭和49年3月までに整理が完了し、その目録は岡山大学附属図書館編『岡山大学所蔵近世庶民史料目録』第3巻（昭和49年）223—251ページに「黒正文庫」として収録されていたのである。そして、この参観の時に、上記「黒正文庫」の書架の側の大型木箱も開けられた。そこには洋書、石版印刷物、西洋古文書などが収められていた。それからしばらく後に私は田中生夫教授に勧められて、これらの資料、私にとっては、岡大に所蔵されていることがその時になってはじめて分かった資料、の調査に当ることになった。以下はそれについての一応の結果である。

なお、上記「黒正文庫」目録に付せられた解説の中で、修正されるべき箇所がある。

(1) 博士の岡山大学在職期間について。解説においては、博士は昭和24年「7月岡山大学教授に任ぜられたが、間もなくこれを辞し、……」(226ページ)とあるが、文・法・経済学部事務部保管の記録によれば、博士は岡大在職のまま死去されている。(2) 岡山大学黒正文庫の範囲について。解説はこれについて、博士の蔵書が「博士の死後、大部分は大阪経済大学の図書館に寄贈され、百姓一揆に関する文献だけが岡山大学に帰した」(227ページ)と述べている。しかし、岡山大学に所蔵される博士旧蔵の図書・資料を岡山大学黒正文庫と呼ぶとすれば、その範囲は上記目録よりはるかに大きくなる。まず、これまでに判明したところでは、京大黒正蔵書の朱印を押した和書で、すでに個々の分類・配架されていたものが、150点以上あり、それには、百姓一揆に直接関連する和装本60点以上が含まれる。(これと同じ種類の洋書があるかどうかは不明である。) 博士に贈呈された論文抜刷と、京大経済学部黒正演習学生の報告(その中の2点には昭和12年と記されている)も若干ある。次に、上記大型木箱に収められていた洋書、石版印刷、西洋古文書などがある。このうち、石版印刷は Carl Menger と Böhm-Bawerk の経済学講義録などであって、これについての検討は本学部八木紀一郎氏によってなされるであろう。さしあたり、同氏「オーストリア学派創始者達の関係資料の現況」、『岡山大学経済学会雑誌』14巻3・4号、1983年、を参照されたい。また、ゾンバルトなど経済学者の手蹟(岡大登録番号1614)とランケなどの肖像画(同1615)も上記木箱に入れられていた。

2. 西洋古文書は合計40点あり、以下ではそのすべてについて標題が岡大登録番号順に示される。これらは昭和29年5月10日に岡山大学施設整備委員会から岡大に寄贈されている。これについては当時、分類作業が行なわれ、図書カードも作成されたはずであるが、この図

書カードは現存していない。また、岡大図書館関係者によれば、これらの古文書の受入れ以後、特徴のある若干の古文書の特別展示が行なわれた。いくつかの古文書に付けられている墨書きの和文標題はその時に作成されたものであろうが、作成者は不明である。各文書には小紙片がクリップでとめられ、そこには文書の標題がタイプされている。これらの文書は、京都帝国大学経済学部講師であった博士が大正11年9月から同14年4月まで米・英・独・仏に留学された時、あるいは、京大農学部教授であった博士が昭和6年6月から12月まで、昭和11年1月から4月まで欧州各国に出張された際に入手されたものであろうが、上記の小紙片はこの時にはすでに付けられていたと考えられる。

これらの古文書は、作成場所の明記されていないもの、あるいは読み取れないもののがかなりあるとしても、ドイツ語圏各地で1535年から1856年までの時期に作成されており、大部分が手工業ツンフトに関連している。(そこで、これを黒正文庫ツンフト関係古文書と呼ぶこともできよう。2点の洗礼証明書(1576, 1582)は、「ドイツ人、自由人、嫡出子」という、徒弟採用に当たっての資格条件と関連すると考えられる。)しかし、これらを十分に整理する能力は私にはなかった。若干検討してみると、上記小紙片にタイプされた標題が、常に正確とはいえぬと分かり、その上に、数多くの疑問点が生じたからである。そこで私は、ドイツ都市史の専門家たる小倉欣一氏(東京)と田北廣道氏(福岡)に調査をお願いした。その結果が本目録(Ⅰ)である。この目録がまだ完全ではないにもかかわらず、ここに印刷する理由は、ドイツ史に関係する原史料としてわが国では稀なこの古文書の存在を公表して、研究者による利用をはかるためであり、その結果としてこの目録が将来補正されてゆくことを願うからである。

3. 本目録(Ⅱ)は、上記大型木箱に収められていた洋書約80点のうち、19世紀央までに刊行された古版本の標題を岡大登録番号順に示したものである。鉛筆またはペンで書かれた刊行年などはカッコを付し、mit Feder geschriebenの文字を追加してある。私の推定はN. M. で示されている。これらの多くには、上記1で言及した博士の蔵書印(朱色)が押されており、一部には、Iwao Koksho / Bibliothek / Abteil. / No. という青色のスタンプが押されている。そのほかに、ベルリンの書店Hugo Streisandのラベルが貼られているものも数点ある。また、これらのうち、登録番号1381—1410のものは昭和28年10月7日に、1604—1652のものは西洋古文書と同じく昭和29年5月10日に、いずれも岡山大学施設整備委員会から岡大に寄贈されている。これらについて、また、木箱にあった他の洋

書について岡大受入れ当時作成された図書カードは、西洋古文書についてと同じく、すでに失なわれている。当時の岡大分類番号は、(I)についてと同様に、以下では考慮されない。

本目録の古版洋書（一部は別刷）48点は、G. G. Küster の教科書 Nr. 1647だけがラテン語であるほかは、すべてドイツ語で書かれているが、その多くを占めているのは農書である。これは、博士が京大農学部で農史講座を担当しておられたことから、理解されよう。法令を印刷したもの4点（Nr. 1609-1613）も目につく。最古の書物はA. Montanusの「東印度会社遣日使節紀行」（または「モンタスス日本誌」）のドイツ語版（Nr. 1381）である。いずれにせよ、農書を中心とした黒正文庫古版洋書の利用のきっかけを与えることがこの目録公表の目的である。なお、若干の匿名著作については著者名の確定が今後の課題として残されている。

（付記 この調査に協力して下さった岡山大学の教官・図書館職員各位に深謝したい。）

（松尾記）

(I) 西洋古文書目録

- (1570) Des Königs Friedrich Wilhelm in Preußen Privileg für die Meister des Bötticher-Gewercks in Straßburg über ihre Zunftordnung. Berlin 28.9.1714. Pergament mit Siegel.
- (1571) Des Pfalzgrafen Philipp Wilhelm bey Rhein in Bayern Handwerksordnung. Neuburg an der Donau 13.9.1684. Pergament mit Siegel.
- (1572) Rechnung über Einnahme und Ausgabe Geld bey einer neu errichteten erbaren Brüderschaft (ab 1763 : einer ehrbaren Gesellschaft) der Zimmer Gesellen in dem Amt Bayreuth. Vom 11.11.1762 bis 16.10.1788. (Rechnung von 1777/1778 fehlt. Vgl. Nr.1573.)
- (1573) Rechnung über Einnahme und Ausgabe Geld bey einer erbaren Gesellschaft der Zimmergesellen in Bayreuth. Vom 25.7.1777 bis 8.8.1778. (Vgl. Nr.1572.)
- (1574) Gebührenrechnung einer Müller- und Bäckerinnung. 24.6.1750.
- (1575) Gebührenrechnung einer Müller- und Bäckerinnung. 2.7.1748.

- (1576) Geburts- und Taufbestätigung. 13.6.1761.
- (1577) Abschrift : Von der Bäckern und Millner Freyheit alhier in dem Marck Rosenthal betreffend. 1697.
- (1578) Lehrvertrag eines Müllerlehrlings. Morrnbach 15.3.1743.
- (1579) Lehrbrief eines Sattlergesellen. Burghausen 9.6.1770.
- (1580) Des Marggrafen Georg Wilhelm zur Brandenburgk Urkunde Fischerei betreffend. 7.6.1622.
- (1581) Gesuch eines Sattlergesellen an das Hofgericht zu Salzburg, ihm das Bürger- und Meisterrecht zu Wäging zu verleihen. Salzburg 14.6.1749. (Vgl. Nr.1583.)
- (1582) Taufschein. 23.5.1768.
- (1583) Begleitbrief zum Gesuch eines Sattlergesellen um Verleihung des Bürger- und Meisterrechts. Salzburg 14.6.1749. (Vgl. Nr.1581.)
- (1584) Rundschreiben der Sattlermeister in Salzburg, die Arbeitsverteilung zwischen Sattlern und Rimern betreffend. 3.2.1692.
- (1585) Rechnung eines Wirtes für die Müller- und Bäckerzunft in den Jahren 1746/47.
- (1586) Attestatum, daß ein Bäcker zu Leonroth inculpirt aber nicht überführet. 22.9.1760.
- (1587) Bestätigung, daß ein Maurergeselle das Maurerhandwerk erlernt. Salzburg 4.3.1734.
- (1588) Copia des Lehrvertrags eines Bäckerlehrlings. 21.6.1743.
- (1589) Meister-Auflage bey dem Jahr-Tag der Müller und Becker. Dietenhoffen 24.6.1760.
- (1590) Abschrift einer Bekanntmachung des Königl. Landgerichtes Dietenhoffen, daß jede Korrespondenz mit anderen inn- oder ausländ. Zünften ... verboten worden. 14.6.1816.
- (1591) Gebührenrechnung an die Bäcker und Müller zu Dieten und Homhofen für die Bestätigung ihrer neuen Handwerksordnung. Bayreuth 15.12.1746.
- (1592) Extract aus 3 baierischen Verordnungen, die Handwerker betr. von den 11.10.1807, 16.3.1808 und 10.6.1809. Neuhof 8.1.1811. Müller- und Beckerzunft gehörig.
- (1593) Schuhmacher-Handwerks-Ordnung der Stadt Neuburg mit den undatierten zusätzlichen Artikeln. 1535. Pergament.

- (1594) Maurer-Innungs-Attest. Memmingen 7.3.1707.
 (1595) Arbeitszeugnis eines Schlosser-Gesellen. Frankfurt/M. 26.6.1797.
 (1596) Lehrbrief des Salpetergewerbs. München 4.1.1794.
 (1597) Arbeitsbescheinigung eines Faßbändergesellen. Stettin 16.4.1806.
 (1598) Arbeitszeugnis eines Schneidergesellen. Leipzig 18.8.1797.
 (1599) Arbeitsbescheinigung eines Maurergesellen. Esseck in Slavonien
 10.8.1814.
 (1600) Meisterbrief der Fleischhauer-Innung zu Tharand. Latare 1772.
 Pergament mit bunten Ausmalungen und Siegel.
 (1601) Beschwerde eines Kürsnermeisters, daß ein anderer Meister ihm
 Gesellen ablocke. Bozen oder Straubing 18.10.1792.
 (1602) Offener Brief des Kaisers Carl VI. gegen das französische Papier-
 geld. Gratz 18.11.1721.
 (1603) Arbeitsbescheinigung eines Müllergesellen. Friedberg in der
 Wetterau 26.7.1804.
 (1605) Gesellenbrief eines Seidenkramers-Gesellen. Stade 6.4.1748.
 Pergament.
 (1606) Passier- und Erlaubnisschein des Churfürsten in Baiern für einen
 Steinmetz, Märkte zu besuchen. München 11.1.1774.
 (1607) Anordnung, einem Sattler den Besuch von Jahrmärkten zu unter-
 sagen. Salzburg 7.6.1794.
 (1608) Meisterbrief der Zimmerleute-Innung. Bregenz 24.1.1699.
 (1609) Lehrbrief der Buchbinder-Innung. Breslau 17.1.1791.
 (1610) Wanderbuch für einen Zigarrenmacher-Gesellen. Lützenburg 27.9.
 1848 --- Altona 3.6.1856.

(II) 古版洋書目録

- (1381) Denckwürdige Gesandschaften der Niederländischen Ost-Indischen
 Compagnie an den Keyser zu Japan (Titelblatt fehlt, auf S.1 gedruckt.)
 (Montanus, Denkwürdige Geschaften, 1669 --- mit Feder geschrieben.)
 (Montanus, Arnoldus, Denckwürdige Gesandtschaften der Ost-Indischen
 Gesellschaft in den Vereinigten Niederländern, an unterschiedliche
 Keyser von Japan : darinnen zu finden nicht allein die wunderlichen

- Begäbnisse auf der Reyse der niederländischen Gesandten, sondern auch eine Beschreibung der Dörffer, Festungen, Städte, Landschaften .. als auch der alten und itzigen Kriegsthaten der Japaner,...., Amsterdam 1669 --- N.M.)
- (1382) Beckmann, Johann, Grundsätze der teutschen Landwirthschaft, 3. Ausgabe, Göttingen 1783.
- (1383) Anonym (Mills, John --- N.M.), Allgemeine Haushaltungs- und Landwissenschaft, aus den sichersten und neuesten Erfahrungen und Entdeckungen geprüft und in Ausübung gebracht von einer ökonomischen Gesellschaft in England, (übersetzt von Peter Freiherrn von Hohen-thal --- N.M.,) 2.Theil, Hamburg und Leipzig 1761.
- (1384) Ders., --- , 3.Theil, ebd. 1763.
- (1385) Krämer, Johann Jacob, Landwirthschaftliche Belehrungen für alle Gegenden überhaupt und seine Landsleute insbesondere. Oder Oekonomisches Etwas zum Beytrage des achtzehnten Jahrhunderts, mit Erläuterungen von Riem, Dresden 1786.
- (1386) Der Schweitzerischen Gesellschaft in Bern Sammlungen von Landwirthschaftlichen Dingen, 1.Theil, 3.Stück, Zürich 1760.
- (1387) Anonym (Benekendorf, Carl Friedrich von --- N.M.), Der Landwirth in und nach dem Kriege. Von dem Verfasser der Berliner Beiträge zur Landwirthschaftswissenschaft und der Oeconomia Forensis, Berlin 1779.
- (1388) Anonym (Benekendorf, Carl Friedrich von --- N.M.), Einleitung zu einer vernünftigen Sparsamkeit in allen Theilen der Landwirthschaft, worinnen insonderheit theils von den Mitteln, den sonst in der Wirthschaft gewöhnlichen Schaden zu verhüten, und theils von der richtigen Anwendung der darinn vorkommenden sowohl Natural- als baaren Ausgaben gehandelt wird, von einem schlesischen Landwirthe, Breßlau und Leipzig 1773.
- (1389) Z., A.S.v. (Zech, A.S.Chr.v. --- mit Feder geschrieben)(Zech, August Siegmund von --- N.M.), Die Verwandlung der Domainen in Bauer-güther, als das beste Mittel zur Bevölkerung, zur Macht und zum Reichthum eines Landes, Straßburg o.J.(1759 --- mit Feder geschrieben.)
- (1390) S., C.E., Beantwortung wichtiger, nie aufgeworfner Fragen, die Verbesserung der Landwirthschaft betreffend, der schlesischen öconomischen patriotischen Gesellschaft zur Beurtheilung vorgelegt, Breslau

1788.

- (1391) Wirthschafts-Calender für Hauswirthe und Wirthinnen der Bauer-Gehöfte auf dem Geest-Lande. Worinnen der Ackerbau, die Heugewinnung und die Sommer-Weiden sich in einem hauswirthschaftlichen Verhältnisse befinden, nebst allgemeiner Zugabe, was der Wirth und die Wirthin zu beobachten haben, wenn sie ihrem Haushalte gut vorstehen wollen, Hamburg und Ratzeburg 1770.
- (1392) Püttmann, J.L.E. (Josias Ludwig Ernst --- N.M.), Ueber die Sattelhöfe, deren Rechte und Freiheiten mit Urkunden, Leipzig 1788.
- (1393) Reinbold, Johann Arnold, Ueber Vereinzelnungen der Domialgüter und einige einschlagende Materien, Göttingen 1792.
- (1394) Anonym (Wichmannshausen, Johann Burckard von --- N.M.), Das vertheidigte Land-Leben unter dem Bilde eines rechtschaffenen Landmannes. Nebst beygefügtten Oekonomischen Gutachten von billigmäßiger Ausgleichung derer Verpächtere und Pächtere wegen derer von letztern erlittenen Kriegs-Schäden, Leipzig 1760.
- (1395) P., I.C., Kurzer Entwurff des Leibeigenthums-Rechts überhaupt und insonderheit wie selbiges in der Grafschaft Hoya und einigen anderen Westphälischen Provintzien hergebracht ist, nebst einem Vorbericht, nach welchen Rechten und Gesetzen man sich eigentlich in der Grafschaft Hoya zu richten habe, Hannover 1747.
- (1396) Bauer, Bauern-Güter, Bauern-Haus. (In : Krünitz, J.G., Oeconomische Encyclopädie, 3.Theil, Brünn --- N.M.) (1787 --- mit Feder geschrieben.)(Vgl. Nr.1407.)
- (1397) Anonym (Sievers, Georg Ludwig Peter --- N.M.), Das Bauerngut. Ein Lustspiel in einem Aufzuge. Fortsetzung der beyden Billets und des Stammbaumes, Grätz 1799.
- (1398) Oest, Nicolaus, Oeconomische Abhandlung von dem Acker-Umsatz nebst zwey Tabellen. Nebst einer Vorrede von Philip Ernst Lüder, Flensburg 1765.
- (1399) Anonym (Schlosser, Johann Georg --- N.M.), Katechismus der Sittenlehre für das Landvolk, Frankfurt/M. 1771.
- (1400) Bergius, Johann Heinrich Ludewig, Cameralisten-Bibliothek oder vollständiges Verzeichnis derjenigen Bücher, Schriften und Abhandlungen, welche von dem Oeconomie- Policey- Finanz- und Cameralwesen

- und verschiedenen andern damit verbundenen Wissenschaften, auch von der dahin einschlagenden Rechtsgelehrsamkeit handeln. Mit einer Vorrede von Christian Ernst von Windheim, Nürnberg 1762.
- (1401) Runde, Christian Ludwig, Abhandlung der Rechtslehre von der Interims-Wirthschaft auf Deutschen Bauergütern, 2.Ausgabe, Göttingen 1832.
- (1402) Graßmann, Gottfried Ludolf, Plan zur Auseinandersetzung ganzer Gemeinden (mit ihren Ländereien) in Gegenden, wo das Erdreich von verschiedener Güte und Beschaffenheit ist. Oekonomisch abgehandelt, Berlin und Stralsund 1774.
- (1403) Schreber, Daniel Gottfried, Abhandlung von Cammergütern und Einkünften, deren Verpachtung und Administration mit verschiedenen Urkunden, 2.Aufl., Leipzig 1754.
- (1404) Ders., dasselbe.
- (1405) Häusler. (In : Krünitz, J.G., Oeconomische Encyclopädie, 20. Theil, Brünn --- N.M.)(1788 --- mit Feder geschrieben.)(Vgl. Nr.1407.)
- (1406) Etwas Neues und sehr Nützlichendes für alle Liebhaber der Land- und Stadt-Wirthschaft, hrsg. von einem wohlerfahrenen Landwirthe, Nürnberg 1761.
- (1407) Lass, Lasse. In : Krünitz, Johann Georg, Oeconomische Encyclopädie oder allgemeines System der Staats- Stadt- Haus- und Landwirthschaft in alphabetischer Ordnung, 65.Theil, Brünn 1796. (Vgl. Nr.1396 und 1405.)
- (1408) Gedanken und Vorschläge zur Stadt- und Land-Oeconomie als ein Beytrag zu denen schlesischen öconomischen Sammlungen, Breslau 1767.
- (1409) Traßler, Joseph Georg (Hrsg.), Der lustige Bauer aus Mähren oder neuer mährisch- und schlesischer Stadt- und Landmannskalender auf das Jahr nach Christi Geburt 1810, welches ein gemeines Jahr von 365 Tagen ist, Brünn, Troppou und Krakau o.J.(1810 --- N.M.)
- (1410) Kurzgefaster Unterricht vor den Baden-Durlachischen Bauersmann, wie er die vier vornehmste Futterkraeuter als ewigen Klee, Esparcette, breiten Klee und Dikrüben pflanzen und benutzen sol, Carlsruhe 1762.
- (1604) Patent (des Königs von Preußen --- N.M.), wie es wegen Verpackung und Verschiffung der Waaren aus den Kauffleute Speichern gehalten werden soll, vom 25.5.1727, Königsberg o.J. (1727 --- N.M.)

- (1611) Kayserl. Patent wegen Abstellung der Handwerks-Misbräuche vom 8. 11.1764, Meiningen 1765.
- (1612) Ihrer Chur-Fürstl. Durchl. zu Sachsen Patent, die General-Innungs-Articul für Künstler, Professionisten und Handwercker hiesiger Lande betreffend, vom 8.1.1780, Dresden o.J. (1780 --- N.M.)
- (1613) Hochfürstliche Fuldische Verordnung wegen denen Viehe-Mängeln vom 12.10.1756, Fulda o.J. (1756 --- N.M.)
- (1622) Petersen, August, Beantwortung der jetzt wichtigen Frage : Ob und wie dem Landbaue, den technischen Gewerben und dem Handel mehrere Freiheiten zu geben und diese mit den mannigfachen Verhältnissen im innern Staatsleben zu vereinigen sind ? in besonderer Beziehung auf das Königreich Hannover. Ein Versuch, Göttingen 1831.
- (1625) Klöden, K.F. (Karl Friedrich von --- N.M.), Ueber die Entstehung, das Alter und die früheste Geschichte der Städte Berlin und Kölln. Ein Beitrag zur Geschichte der Germanisirung slavischer Gegenden, Berlin 1839.
- (1631) Apelt, E.F.(Ernst Friedrich --- N.M.), Die Epochen der Geschichte der Menschheit. Eine historisch-philosophische Skizze, 1.Bd., Jena 1845.
- (1632) Anonym (Kühnol, Christian Gottlieb --- N.M.), Geschichte des Jüdischen Volks von Abraham an bis auf Jerusalems Zerstörung für denkende Leser der Bibel, Leipzig 1791.
- (1639) Fichte, Johann Gottlieb, Reden an die deutsche Nation, Neue Aufl. Leipzig 1824.
- (1640) Schleiermacher, F. (Friedrich --- N.M.), Gelegentliche Gedanken über Universitäten in deutschem Sinn. Nebst einem Anhang über eine neu zu errichtende, Berlin 1808.
- (1641) Streckfuß, Karl, Ueber das Verhältniß der Juden zu den christlichen Staaten, Zweite Schrift, Berlin 1843.
- (1642) Akademischer Address-Kalender auf das Jahr 1767 u. 68, worinnen nebst andern wichtigen Nachrichten die Namen und Aemter aller jetztlebenden Lehrer der Akademien in und auserhalb Teutschland befindlich, Erlangen o.J.(1767 --- N.M.)
- (1643) Biester (,Johann Erich --- N.M.) (Hrsg.), Berlinische Monatschrift, September 1795.

- (1644) Rainal, Thomas, Von politischen Mordthaten und Räubereyen oder Proscriptionen und Confiscationen der Güter. Aus dem Französischen übersetzt, Hamburg 1796.
- (1646) Anonym (Bilderbeck, Christoph Lorenz --- N.M.), Entdeckte Grufft natürlicher Geheimnisse. Das ist gewisse und richtige, nicht in blosser Speculation bestehende, sondern durch viele und oftmahlige Experimenta bewährte Künste, die Land-Güter zu verbessern, den Ackermann reich zu machen und zu allem Überfluß zu verhelffen ... hrsg. von einem Liebhaber guter Künste, Leipzig 1717.
- (1647) Kusterus, Georgius Gothofredus (Küster, Georg Gottfried -- N.M.), Memorabilia Coloniensia XIX Speciminibus Absoluta, Leipzig 1731.
- (1651) Anonym (Simon, Jordan --- N.M.), Nicht doch. Auflösung der kleinen Zweifel über zwey Berichte von einer Hexen- oder Studenten-Geschichte, die sich in dem Jahre 1768 den 10.11.12. und 13. Junius zu Ingolstadt in Bayern soll zugetragen haben. Aus einem dritten Berichte des Herrn Direktors gezogen, Berichtshausen o.J.(1768 --- N.M.)
- (1652) Anonym (Simon, Jordan --- N.M.), Nun, Ja. Oder kleine Zweifel über zwey Berichte von einer Hexen- oder Studenten-Geschichte, die sich in dem Jahre 1768 den 10.11.12. und 13. Junius zu Ingolstadt in Bayern soll zugetragen haben, Unglauben o.J.(1768 --- N.M.)